

歯周病検診を受けましょう！

対象者は今年度 20・30・40・50・60・70 歳になる方です！

進行した歯周病(4 mm以上の歯周ポケット)を有する者の割合は、15 歳から 24 歳で **17.8%**、25～34 歳で **32.7%**と高齢者だけでなく若年者も歯周病にかかっている人がいるという結果が出ています。

誰でも歯周病のリスクがあることを認識し、「**10 年に一度のチャンス**」を逃さずこの機会に受診しましょう。

※令和 4 年歯科疾患実態調査より

歯周病とはどのような病気でしょうか

歯周病は、歯と歯ぐきとの境目に歯垢(プラーク)がたまることから始まります。この歯垢の中の細菌がつくる毒素によって、歯ぐきが炎症を起こして赤く腫れ、血が出やすくなります。

進行すると歯ぐきから膿が出たり、歯を支える骨が溶かされて歯が動くようになり、放置するとやがて歯は抜けてしまいます。

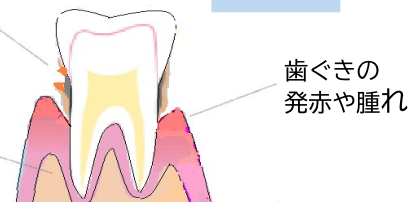
健康な歯ぐき



歯垢・歯石の沈着

歯槽骨の吸収

歯周病

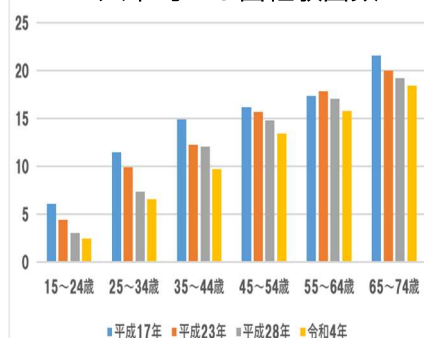


むし歯はなくても歯周病になる可能性はあります

むし歯は年々減ってきていますが、歯周ポケットが4mm以上ある歯周病の人は逆に増えてきています。誰でも歯周病にかかる可能性があるのです。

さらに恐ろしいことに、歯周病は初期症状がないため発見が遅れることもあります。

(本) 1人平均むし歯経験歯数

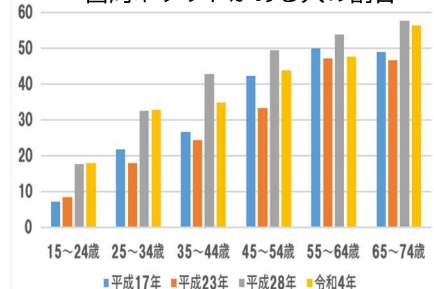


むし歯は減っている

歯周病の人は増えている

※令和 4 年歯科疾患実態調査より

(%) 4 mm以上の歯周ポケットがある人の割合



歯周病と全身疾患等との関係性

慢性的な歯周病は、歯周病菌やその菌が産生する毒素、炎症反応性物質などが、歯ぐきの毛細血管を通して、全身のあらゆる組織に送られ、それぞれの組織で悪影響を及ぼすと言われています。



参考：「歯周病検診マニュアル2023」

鹿児島市の歯周病検診の状況

直近の歯周病検診の結果は、40歳以上の2人に1人が4mm以上の歯周ポケットがありました。令和6年度から始めた20、30歳の結果は、暫定値で40歳以上とほぼ同じ割合の人に4mm以上の歯周ポケットがあるという結果が出ています。

歯周病検診ではどのようなことをするのでしょうか

歯周病の検査方法はポケットプローブという目盛りのついた器具を使って、歯と歯ぐきの境目の溝(歯周ポケット)の深さを調べ、出血や歯石の有無を確認します。

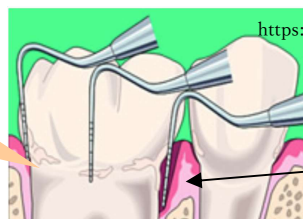
鹿児島市の歯周病検診は、歯科検診と代表歯のみ歯周ポケット診査を行います。

※本市の歯周病検診の内容以外の検査等を行った場合は、別途支払いが生じます。

参考：e-ヘルスネット

<https://kenet.mhlw.go.jp/information/information/teeth/h-03-002>

歯周ポケットが4mm以上で
「歯周病が進行した状態」
とされています



ポケットプローブ

歯周ポケット

歯周病検診を積極的に利用しましょう！

歯周病検診を **500円** で受けられるのは、**10年に一度の貴重な機会**です。

歯周病は自覚症状がほとんどなく、気づかいうちに進行してしまうことがあります。

この機会に検診を受けて、年に1回は歯科医院を受診して適切な処置やアドバイスを受けましょう。

—鹿児島市の歯周病検診—

受診券の有効期限は令和8年3月31日まで

対象者：20・30・40・50・60・70歳の方

実施場所：委託歯科医療機関（鹿児島市HP 歯周病検診で検索）

一覧表に掲載している医療機関以外では受診できません。

検診料：500円

（*70歳の対象者、市民税非課税世帯の方、生活保護世帯の方は無料）

お問合せ：鹿児島市保健予防課（TEL 099-803-6927）